

患者さんと中央市民病院をつなぐ情報誌

SHIOKAZE Magazine

し / お / か / ぜ / 通 / 信

Vol.
62

2026
New Year



Contents

- P1-2 新年のご挨拶
- P3-6 放射線技術部インタビュー
- P7 「マイナ保険証」をご利用ください!
- P8 「医療費あと払いサービス」のご案内
- P9 「神戸医療産業都市 一般公開」に参加しました
- P10 ご寄付のお願い



令和8年 新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中の
当院へのご理解とご支援に心より感謝し、新しい
年での皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

令和6年に開設100周年を迎え、神戸市立医療
センター中央市民病院の職員一同は次の百年をさ
らに豊かなものにする決意で臨んでいます。新た
な世紀にどんな展開が私たちを待ち受けているの
か、たいへん興味深く思われます。当院に信頼を
寄せていただく市民の皆さまと共にひとつひとつ

の歡びを共有し、また困難を克服してゆきたいと念
じます。

健康であることは全てのひとの切実な願いであ
ります。苦痛や不安がなく自分の意思で自立した生
活を送ること、それに優る幸せはないと言っても過
言ではありません。仕事に集中したり、仲間と活動
したり、あるいは家族と団欒を囲んだりするのも、
健康であってこそ心置きなくできることです。長い
人生を歩むこの時代においては、様々な心や身体

の不具合を経験される方々がおられますし、すでに時間を費やして不調と付き合っている方も稀ではありません。近隣のかかりつけ医は、そのような気付きや不調に際して最初にそして末永く頼りになる存在です。かかりつけ医がより高度な対応を要する病態を認めたり疑ったりした時に、私たち基幹病院がその役割を發揮します。

救命救急は市民からの一刻を争う要請に対応する機能であり、当院が全力を挙げてその体制を維持しているところです。三次救急を中心に年間1万台の救急車を受け入れ、厚生労働省診療体制評価においては11年連続して全国第一位に輝いています。様々な緊急要請に応える一方で私たちは、病院全体の病床を統合的に活用できるよう病床管理のDXも推進しています。全国初の大規模Volume Control (病床管理) Centerの導入で、救急・外来・病棟の一体的な運用が実現しました。この結果、「患者総合支援センター」(旧地域医療連携センター) は入院から退院まで一貫した支援を提供できる体制に生まれ変わりました。

救命救急医療に次いで当院が果たす役割は、高度先端医療の提供です。優れた医療技術を高い安全域で遂行するために、チーム医療の更なる推進、情報の共有、無理のない働き方、仮説への挑戦を病院全体で実践しています。手術部門には外国製2台に加え3台目となる国産手術支援ロボットhinotori™を導入しましたし、整形外科領域にも新たな装置の導入を検討しています。手術支援ロボットは手術過程を繊細に可視化することで、合併症を最小限にし、患者への身体的負担を確実に減らしています。画像診断部門には3台目となる3テスラMRI (核磁気共鳴診断装置) が導入され、微小病変や機能画像の描出に革新がもたらされ

ました。新薬を含む多くの治験や臨床研究が監督部門の審査を経て実施されており、年間で400編を超える国際論文を輩出して神戸市医療産業都市中核病院の役割を果たしています。実施した医療の結果を検証して更なるシステム改善に繋げるために、病院全体でPROMs (Patient-Reported Outcome Measures; 患者自身の報告に基づく治療効果判定指標) の活用にも取り組みが始まっています。

さて「市民からの信頼」と「集積された医療人材」に加える3つ目の宝として、これまで蓄積された膨大な「診療実績と記録」があります。今日のIT革命とりわけAIを活用した大型データベースの検索技術によりその解析が可能となりつつあります。医療記録は個人情報ですから、その取扱いについては約束事を遵守し、許された範囲で行うことが肝心です。市民の皆さまに埋もれた金鉱のような情報の価値を理解してもらえれば、未来の科学を切り開くことができます。30年に亘り医療産業都市に築かれた様々な研究施設やスーパーコンピュータに貴重な医療情報を提供する新たな病院機能とその役割を果たす時が近づいていると感じています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

神戸市立医療センター中央市民病院
病院長

木原康樹

安全で正確な診療を 支える放射線のプロ

CT検査や放射線治療などを担う放射線技術部は、
病気の発見や治療方針の決定に欠かせない部門です。
現場で活躍する放射線技師に、
日々の業務や仕事への思いについて聞きました。

放射線技術部の中心業務は、画像診断、核医学検査、
放射線治療の3つです。60名を超えるスタッフが第1～
第3技術部に分かれ、各々の専門性を発揮して安全で確
かな診療を支えています。

CTやMRIなどの画像診断装置は日々進化を続け、最近
ではAIが搭載されたことで、放射線量をできる限り抑え
ながら、より安定して鮮明な画像が得られるようになり
ました。これにより、検査の安全性と精度がさらに向上
しています。

当院は神戸市民の命と健康を守る“最後の砦”として、24
時間365日、高度医療を提供しており、救急当直業務も
放射線技術部の重要な役割です。臨機応変な対応と幅
広い知識が求められる現場では、積み重ねた経験を
チーム医療として活かし、医師や看護師等、様々な職種
の方と連携しながら患者さんに向き合っています。

また、放射性医薬品の適切な管理や医療スタッフの被ば
く管理・安全指導にも力を入れ、院内全体の安全確保に
貢献しています。

新人やレジデントの育成にも注力し、教える側と学ぶ側
が共に成長できる教育カリキュラムを整備。専門資格の
取得に挑戦する技師も多く、皆で切磋琢磨しながらスキ
ルを磨いています。

私たちはこれからもチーム医療の一員として、神戸市民
の皆さんの健康と安心を支え続けます。

放射線技術部
技師長

茨木
丈晴

いばらぎ

たけはる

第1技術部 技師長補佐

うつのみや
宇都宮さん

Q. 第1技術部の仕事について教えてください。

レントゲン撮影やCT検査、救命での画像検査など、幅広い分野の画像診断に関わっています。放射線技術部の中で最も撮影数が多く、CT撮影は1日に200件ほど行っています。また、CTやMRIで撮影した画像を見やすく加工し、治療に必要な部分を抽出して医師などに提供することも大事な業務です。近年は画像処理ツールが進化したことで作業がスムーズになり、より正確で迅速な検査・診断が可能になりました。



Q. 若手の育成制度や長く働ける環境は整っていますか？

新人研修では各技術部で先輩の丁寧な指導のもと実務を学び、当直業務にも慣れたのち、本配属先で専門性を高めていきます。レジデントは短期間で多様な装置や業務を経験し、育成チームの支援を受けながら段階的に成長できます。長く働ける環境も整っており、当直は皆で助け合い、休暇も取りやすく、3次救急の対応を通してスキルアップも図れます。

第2技術部 技師長補佐

いのうえ
井上さん

Q. 第2技術部はどのような業務に取り組んでいますか？

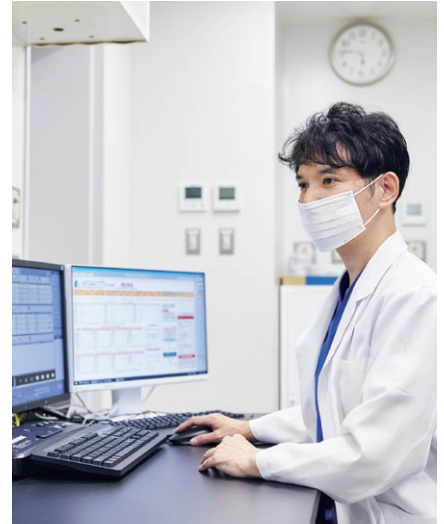
血管造影部門と手術室・ICUで、高性能な装置を使った検査や治療に携わっています。血管撮影装置を備えた血管造影部門では、頭や首、心臓、腹部などの血管内治療と検査に対応。高い専門知識と技術を持つ放射線技師が医師、看護師、臨床工学技士とチームを組み、高度な治療を行っています。また、X線を使用した手術を行うハイブリッド手術室では、安全で質の高い手術をサポートしています。

Q. 安心・安全な検査と治療のために工夫していることは？

手術室とICUの近くにCTを配置し、手術後やICUで治療中の患者さんが別の階に移動することなく、安心して迅速に検査が受けられる環境を整えています。「患者さんの苦痛を減らし、病気を治したい」という強い思いを持ち、安全を最優先に業務を遂行することが私たちの務めです。重篤な患者さんも多い中、命を救えたときの達成感がやりがいとなっています。

Q. 当院の放射線技術部の強みは何ですか？

第3技術部では、がん患者さんへの放射線治療のほか、放射性薬剤を用いて臓器の働きや病変の性質を調べる核医学検査も担当しています。核医学検査や放射線治療を行える病院は限られており、当院放射線技術部の大きな強みの一つです。患者さんの立場に寄り添い、リラックスして核医学検査や放射線治療を受けられる環境づくりに力を注いでいます。



Q. 放射線技師を目指す方にメッセージをお願いします。

核医学検査は長時間に及ぶ場合もあり、患者さんの負担を減らすために短時間で正確に検査を行うことが放射線技師の腕の見せ所です。私は「早く終わってよかった」と患者さんに喜んでいただくことを目標に業務に取り組んでいます。医療技術は日々進歩しているため、目標を持って学び続けることがモチベーションにつながります。放射線技師を目指す皆さんも目標を胸に、共にごがんばりましょう。



Q. 仕事のやりがいや大変なことは何ですか？

現在は放射線治療を担当し、がんの根治や痛みの軽減に取り組んでいます。数週間にわたり1人の患者さんと毎日接する中では、自然な会話を重ねながら信頼関係を築き、安心して治療を受けていただけるよう心がけています。病状が落ち着いたり治療の効果が見えたりするとうれしく、励みになります。一方で、放射線の照射方法や装置の仕組みなど覚えることが多く、知識の習得には苦労しています。

Q. チャレンジしたいことや目標はありますか？

放射線治療の専門資格を取得し、知識と技術をさらに深めると共に画像診断の能力も高め、総合力と安心感のある放射線技師を目指したいと考えています。また入職5年目を迎え、後輩を指導することも増えてきました。自分が新人のときの気持ちを忘れず、経験の浅い人の視点に立ってわかりやすく説明し、話しやすい雰囲気づくりにも努めたいと思います。

レジデント

もり
森さん

Q. レジデントに応募した理由と その魅力を教えてください。

診断と治療の両方に携われる点に魅力を感じ、放射線技師を志しました。特に当院は装置の種類が豊富で症例数も多く、幅広い経験が積めると考えたことが応募の大きな理由です。現場では先輩方がいつも多角的な視点から丁寧に指導して下さり、知識の幅が広がっていると感じています。同期の存在も心強く、悩みを相談したり励まし合ったりしながら、一緒に成長しています。



Q. 学びを進める中で、 特に印象的だったことは何ですか？

レジデント2年目の今は、興味を持ったCT・MRI・一般撮影について、さらに深く学んでいます。先輩たちが装置や検査方法の理論とエビデンスを十分に理解した上で的確に検査を進める姿に触れ、自分の未熟さを痛感しました。もうすぐ始まるMRI検査の研修では、改めて基礎から学び直し、放射線技師の基盤となる画像診断技術をしっかり身につけたいです。



次回から「マイナ保険証」をご利用ください！

受診の際は、マイナンバーカードを！

従来の健康保険証は、令和6年12月2日以降新たに発行されなくなりました。
お手持ちの健康保険証は、令和7年12月2日以降（※）ご利用できなくなります。
マイナ保険証をご利用いただくと様々なメリットがありますので、この機会にぜひ切り替えをご検討ください。

（※）令和6年12月1日までに発行された保険証が対象です。

マイナ保険証を使うメリット

- ✓ 窓口で限度額以上の支払いが不要になる（高額療養費制度）
- ✓ 過去のお薬・診療データに基づくより良い医療を受けられる
- ✓ 引越し・就職・転職の後もそのまま健康保険証として使える
- ✓ 救急現場で、搬送中の適切な応急処置や病院の選定などに活用される



後期高齢者医療制度と国民健康保険にご加入の方は、令和7年8月1日以降順次、現行の健康保険証が使えなくなります。有効期限をご確認のうえ、失効後はマイナ保険証か資格確認書をご利用ください。

なお、マイナ保険証や有効な健康保険証をお持ちでない方、または、ブロック受付での保険証確認をご希望される方は、マイナ保険証は非対応となっておりますので、資格確認書をご持参ください。

ご利用の流れ

①受付

マイナンバーカードをカードリーダーに置いてください。

②本人確認

顔認証または4桁の暗証番号を入力してください。

③同意の確認

診察室等での診察・服薬・検診情報の利用について確認してください。

④受付完了



登録&
利用料 **無料**

医療費あと払いサービスとは？

専用WEBサイトに、患者さん情報・クレジットカード情報等を入力していただき、事前登録するだけで、診察終了後にお会計を待たずにお帰りいただけるサービスです。入院・一般外来・救急外来の医療費に利用可能です。

●ご利用の流れ



●ご利用案内

- ◎利用登録には、患者さん情報(診察券番号・氏名・生年月日・住所等)・メールアドレス・クレジットカード情報の入力(事前登録)が必要です。
※クレジットカードの有効期限が切れた場合は、登録情報の更新が必要です。
※外来医療費は当日診察終了まで、入院医療費は退院前日までに利用登録が必要です。
- ◎クレジットカード決済は、診療日の約4日後に実施されます。
- ◎決済完了後、ご登録のメールアドレスに決済内容の通知が届きます。
- ◎領収書や明細書が必要な方は、決済完了通知後に専用端末(2階再来受付機横)にて発行が可能です。
・発行可能時間: 平日8:30~17:00(診察券が必要です)
・領収書、明細書の再発行及び郵送はできませんのでご注意ください。
- ◎院内処方がある場合は、2階総合受付(有人会計窓口)までお越しください。
- ◎以下の方はご利用いただけません
・妊婦検診等の補助券を利用される方
・指定難病や自立支援医療の自己負担上限管理票への記載が必要な方
- ◎その他、詳細は院内のチラシまたは当院ホームページをご確認ください。

待たずに
ラクへだ



ご利用登録の
WEB専用サイトはこちら!

URL <https://s4.medicalpay.jp/chuo/login/>

QR



「医療費あと払いサービス」のご案内
お会計の待ち時間をゼロにしませんか？

当院も参加しました 「神戸医療産業都市 一般公開」に

神戸医療産業都市では、年に一度、都市内の研究機関や大学、病院、企業が
一斉に施設を公開する市民向けイベントを開催しています。

当院も10月4日（土）に「脳のヒーローになろう！～こども医療体験～」の企画で
参加し、多くの方々にご来場いただきました。

今年は、4歳以上の未就学児から小学生を対象に、子ども向けの体験イベント
を実施し、非常に多くの皆さまにお越しいただきました。

体験コーナーでは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリセラピストなど、
多職種のスタッフが血圧測定、カテーテル体験、縫合体験、調剤体験など、さま
ざまなブースを企画しました。

また、オリジナルキャラクターの「ストローくん」も登場し、記念撮影を行うなど、
見て・触れて・楽しく学べるイベントとなりました。

参加者の皆さまからは、「普段できない体験ができてとても楽しかった」「また
来年も是非来たい」といった声を多数いただきました。当院では今後も、市民向
けの患者教室等のイベントを定期的で開催していく予定です。皆様のご参加をお
待ちしております。



神戸医療産業都市
一般公開

ご寄付のお願い

当院はこれからも地域の皆様へより良質で安全な医療を提供していきたいと考えています。皆様には寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡にかかわらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

きほら やすき
神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原 康樹

ご寄付の流れ

1. ご寄付のお申込み

「寄付申込書」に必要事項をご記入いただき、下記の宛先へご提出ください（郵送・FAX・持参どれでも可）。寄付金の納付先をご連絡させていただきます。また、インターネットでのお申込みも可能です。

「現金」、「銀行振込み」、「クレジットカード」のいずれかで可能です。また、遺贈によるご寄付も承っております。



詳細はこちら▲

2. 寄付受納書のご送付

寄付受納書は、口座への入金を確認後に発行させていただきます。インターネットからクレジットカード決済をお申込みの場合、クレジットカード会社から当機構への入金を確認した日付以降となり、通常2～3か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

経営企画課

TEL: 078-302-4321 / FAX: 078-302-7537
E-mail: kifu@kcho.jp

寄付金で
購入いたしました



ヘパフィルター



外来用の椅子

ご寄付をいただいた皆様

(令和7年8月～令和7年11月)

多くの励ましやご支援をありがとうございました。

ご寄付をいただきました方のお名前を、感謝の気持ちとともにここに掲載させていただきます。

松本 靖子 様	林 国勝 様	二神 重則 様	黒田 耕司 様	鈴木 靖子 様
宮本 一夫 様	天河 宏 様	前 頼子 様	武本 邦子 様	小川 泰子 様
中澤 健一郎 様	藤川 敏子 様	渡邊 絹枝 様		

一般財団法人神戸万国医療財団 様	はまなすの会 様
株式会社SHiNKO 代表取締役 神農 研二 様	

(順不同掲載)

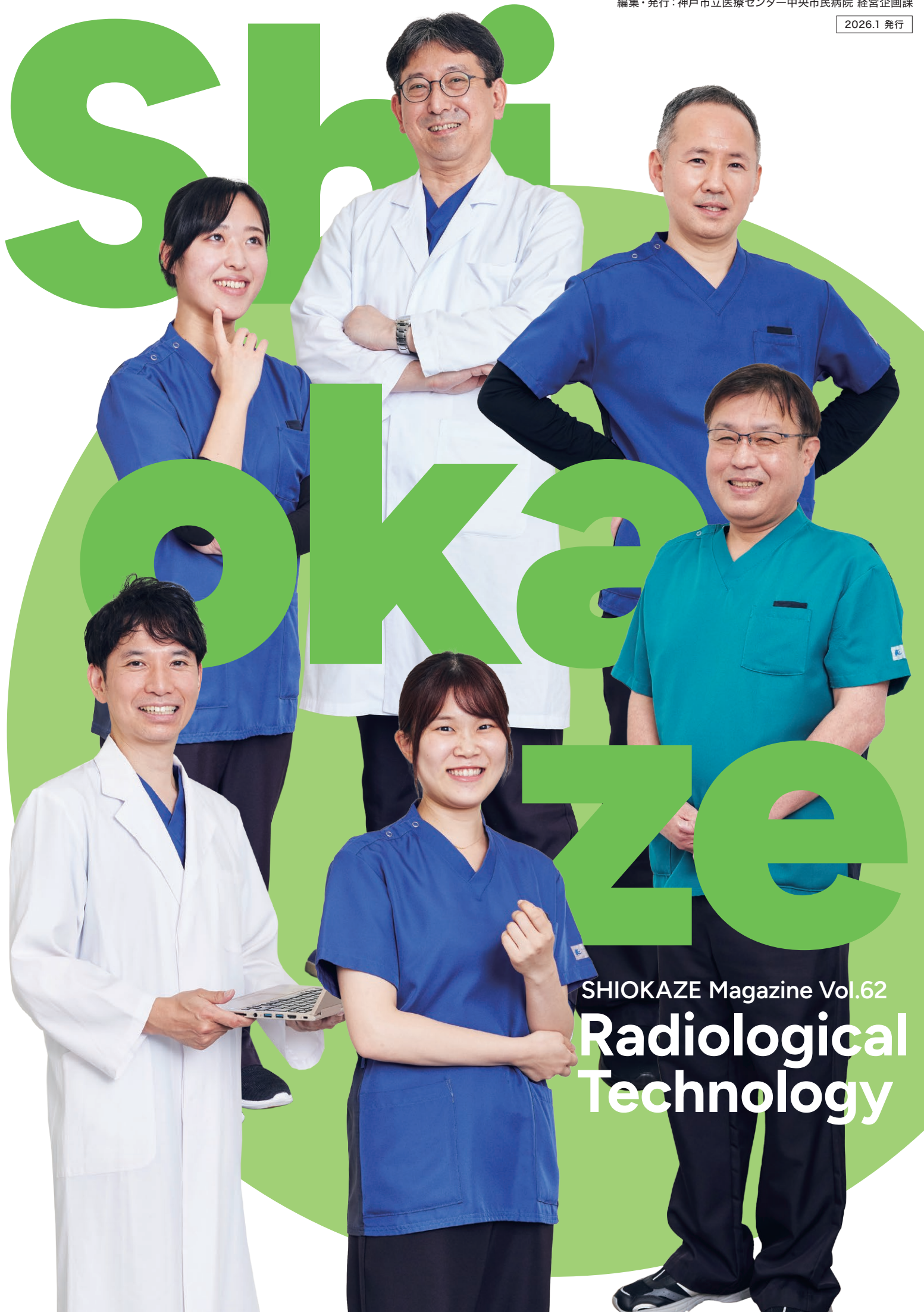


地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1
TEL: 078-302-4321

http://chuo.kcho.jp





SHIOKAZE Magazine Vol.62

**Radiological
Technology**